

# 地域ネットワークだより

制作快調!

## かごしま企業魅力発掘センター

MBCは今年度、鹿児島県の「現役学生による『心惹かれる企業』情報発信業務」を受託しています。

この事業は、県内の大学生が「かごしま企業魅力発掘センター」となり、地元企業を取材して鹿児島で働くことの魅力を発掘・発信するものです。公募で集まったセンターは、県内の大学や短大に通う25名。まず研修会でインタビューや撮影の基礎を学んだ後、夏休み期間中に4~5名のグループに分かれ、県内各地の様々な業種の企業を取材しました。

今後は、取材内容をもとにWEBサイトで公開する動画と紹介記事の制作を進めていきます。学業やアルバイトと両立しながら、学生センターが自身の視点で切り取った「鹿児島の企業の魅力」。その成果は来年1月末に公開予定です。どうぞご期待ください。



# 第58回 MBC賞表彰式

MBCと公益財団法人MBC畠中文化基金は、経済や社会・文化・教育・芸術・スポーツなどの各分野で地域の発展に貢献し、今後の発展が期待される個人や団体にMBC賞をお贈りしています。



1968年にMBCの創立15周年を機に創設され、これまでに109団体と個人59名を表彰しています。10月10日に行われた「第58回MBC賞表彰式」で受賞した3団体を紹介します。

## 団体 鹿児島信用金庫 吹奏楽部（鹿児島市）

## 地域貢献を90年続け、音楽の力で地域社会に貢献

鹿児島信用金庫吹奏楽部は「音楽を通して地域社会に貢献する」という理念のもと、1935年に創立されました。

戦後の復興期に始まった「おはら祭」には1949年の第1回から連続で参加し、鹿児島の歴史と共に歩んできました。

現在も年間約20回の演奏活動を展開し、近年は未来の担い手を育む「かしん『音楽の杜』事業」にも力を注ぐなど、地域文化の振興に大きな貢献をしていることが高く評価されました。



## 団体 鹿屋市平和学習ガイド・調査員連絡会（鹿屋市）

## 鹿屋の戦争遺産を語り継ぎ、平和を伝える活動

鹿屋市平和学習ガイド・調査員連絡会は、鹿屋の戦争の記憶を後世に語り継ぐため、2015年に設立されました。活動の柱は、串良基地跡地下壕第一電信室や川東掩体壕など鹿屋市内の戦争遺跡を巡るガイド活動で戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え続けてきました。

このほか、学校での出前講座も行っています。戦後80年が過ぎ、戦争を知らない世代が増える中、生きた教材として地域に根ざした平和教育を推進するその献身的な活動が高く評価されました。



## 団体 公益社団法人鹿児島県助産師会 鹿児島中央助産院（鹿児島市）

## 母子保健向上と地域のお産と未来を支える活動

公益社団法人鹿児島県助産師会は、前身団体から103年にわたり、県内の母子保健を支えてきた鹿児島で最も歴史ある助産師の団体です。最近では産科の集約化により地域でお産ができる場が減少する中、同会が運営する鹿児島中央助産院は、妊娠・出産から子育てまでを支援する極めて重要な拠点となっています。

産後の孤立や育児不安が社会課題となる現代、一人ひとりの親子に寄り添う同会の活動は未来への大きな希望であると高く評価されました。



# KAGOLOOP (かごしま関係案内所) ができました！



## 「ふるさとは離れたけど、鹿児島とはゆるくつながっていきたい」

そんな方々にぴったりな、新しいLINEプラットフォーム「KAGOLOOP(かごしま関係案内所)」が誕生しました。人口減少・高齢化が進む地方において、いま「関係人口」が注目されています。関係人口とは、その地域に住む人や観光で訪れる人とは異なり、地域外から特定の地域と多様な形で関わる人たちのことを指します。鹿児島県からの委託事業として、県とMBCが共同で立ち上げたこのプラットフォームは、故郷を離れて暮らす方や鹿児島にゆかりのある方を対象としています。LINEに登録するだけで、最新の情報が自動で届くようになります。

### KAGOLOOPのコンテンツ例

KAGOSHIMA MEET LUNCH in TOKYO

東京食肉市場まつり2025

移住相談会in大阪~

### ◎KAGOLOOPで得られる情報

- ▶ 全国で開催される鹿児島関連のイベント情報
- ▶ 今のがわかるトピックス
- ▶ 同窓会や県人会など、人とのつながりに関する情報
- ▶ メディアで鹿児島が取り上げられる情報

鹿児島発の  
関係人口プラットフォーム  
「KAGOLOOP」に  
ぜひご登録ください。

かごしまの食卓 #2

かごしまトピックス vol3: 日置市

WEBサイト

公式LINE

※県外で開催される自治体等のイベント情報掲載も可能です。LINEのメニューから掲載申請をお待ちしています。

# 地域とモビリティの未来を考える。 奄美市でセミナー初開催



路線の縮小や担い手不足など、地域の公共交通が岐路に立たれています。一方で、大阪・関西万博で披露された自動運転バスや「空飛ぶクルマ」は、課題解決の切り札として注目を集めています。

こうした新技術を取り入れ、地域の移動を支える人材を育てようと、セミナー「モビリティのミライ@かごしまKURUMAZA」が10月8日、奄美市のアマホームPLAZAで開かれました。

県内の自動車販売会社6社が中心となり開いたもので、2回目の今回は、オンライン参加を含め自治体職員らおよそ50名が参加。講師の一人で、「鉄旅オブザイヤー」審査員を務める共同通信社の大塚圭一郎さんは、取材を通じて見た全国、そして鹿児島の公共交通の実情を紹介しました。

その中で、県内の鉄道やバスの経営が厳しさを増す中、ANAホールディングスが主導する「空飛ぶクルマ」の実現可能性に言及。新技術が県内の交通を活性化する未来図を示唆しました。

このセミナーは今後、鹿屋市と南さつま市でも開催されます。

アーカイブ動画は、MBCのホームページで視聴することができます。

▼志學館大学客員教授 真竹龍太さんの講義



▲で、販売枚数が新型コロナウイルス禍前を超えていた  
路線にしか割り当てていない  
るよう 「人數」 や 「金額」 を交えて提示  
把握して理解を深めてもらい、サステナブル (持続可  
れる交通手段にするように一緒に取り組んでほしい)  
との協議を拒否していた芸備線備中神代 (岡山県) 一  
生法に基づく全国初の再構築協議会に追い込まれた  
唯一の鉄道路線で、かつ同線で採算が最も厳しい区间  
西日本株を約1億円分購入  
から沿線自治体は重要な利害関係者の一員であり、丁



講師 共同通信社経済部次長 大塚圭一郎さん



モビリティのミライ@かごしま  
[https://www.mbc.co.jp/mobility\\_mirai/](https://www.mbc.co.jp/mobility_mirai/)



## 「空飛ぶクルマ」鹿児島の皆さんにはご期待いただきたい

ANA HD  
芝田社長



ANAホールディングス  
芝田浩二社長  
(奄美・加計呂麻島出身)

9月30日、大阪・関西万博会場で「空飛ぶクルマ」デモ飛行式典が行われました。初めてフライトを見たANAホールディングスの芝田浩二社長(奄美・加計呂麻島出身)はMBCの取材に対し、「錦江湾をまたぎ薩摩半島、大隅半島の交通網の拡充につながる。非常に活用できるエリアなのでぜひ鹿児島の皆さんにはご期待いただきたい」と話しました。ANAホールディングスでは2027年以降、国内でのエアタクシーサービスの商用化を目指しています。



MBC NEWS DIG

